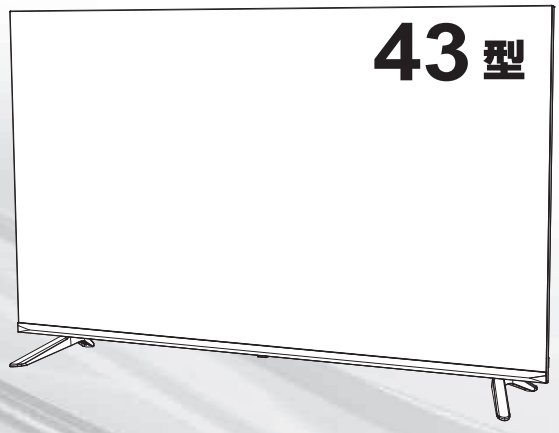
液晶モニター

AP43APXA/DA43MDR

取扱説明書



もくじ 2
はじめに 3
準備 13
テレビを見る 26
メニュー 28
その他 35

このたびは液晶モニターをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

特に「安全上のご注意」は、液晶テレビをご使用前に必ずお読みいただき正しくお使いください。

■ 保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。

目次

はじめに 3

安全上のご注意 4

警告（移動、設置） 4
警告（電源コード・プラグ） 6
警告（使用） 7
警告（電池） 7
注意 8
注意（電池） 9
注意（廃棄） 9

使用上のご注意・お手入れについて 10

付属品を確認する 12

準備 13

各部の名前 14

本体操作部 14
本体接続部 15
リモコン 16

リモコンについて 17

設置のしかた 18

設置の手順 18
スタンドをつける 19

電源コードの接続 20

接続する 20
電源に関するご注意 20

他の機器との接続 21

USB ハードディスクを接続する 21
ヘッドホンを接続する 21
DVD プレーヤーなどを接続する 22
パソコンを接続する 24
同軸デジタルケーブルで AV アンプなどを接続する 25
HDMI 連動 (CEC) 対応機器と接続する 25

テレビを見る 26

テレビの操作 27

メニュー 28

メインメニューの使い方 29

その他 35

故障かな？と思ったら 36

お問い合わせの前に 36
原因と対策 36

主な仕様 38

はじめに

本製品をご使用になる前に下記の「安全上のご注意」、「使用上のご注意・お手入れについて」を必ずよく読み、正しくお使いください。

ページ

安全上のご注意 4

使用上のご注意・お手入れについて 10

付属品を確認する 12

安全上のご注意

ご使用の前に本書、特に「安全上のご注意」をよくお読みいただき、正しく安全に使用してください。

この取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。これらは、あなたや他の人々への危害や、財産の損害を未然に防ぐための表示です。危害や損害の内容や程度に応じて、表示を以下のように区分しています。
内容をよく理解していただいてから本文をお読みいただき、記載事項をお守りください。

⚠ 警告 この内容をお守りいただかないと、人が死亡や大けがに至るような、重大な事故が起こる可能性があります。

⚠ 注意 この内容をお守りいただかないと、人のけがや財産の損害をまねくことがあります。

図記号の意味（例）

気をつけていただきたいという記号です。

してはいけないという記号です。

していただきたいという記号です。

⚠ 警告（移動、設置）

正しい方法で運搬 / 移動する

誤った方法で運搬したり移動したりすると、本機が落下し、打撲や骨折をしたり、大けがをすることがあります。運ぶときは、衝撃を与えないようにしてください。落下や破損などにより、大けがの原因となります。
テレビの底面を持つときは、後ろ側から手を回してしっかりと持ってください。
修理や引っ越しなどで本機を運ぶ場合は、お買い上げ時に本機が入っていた箱と、クッション材を使ってください。

運搬 / 移動するときは接続されている線などをすべて外す

本機を運ぶときは、本機に接続されている電源プラグやケーブルなどを全てはずしてください。電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

使用・設置場所について

電源コンセントに容易に手が届く場所に置き、何か異常が起こったときは、すぐに電源プラグを抜くようにしてください。暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。適度の明るさの中でご覧ください。また、連続して長い時間、画面を見ていることも目を疲れさせます。

通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
・あお向けや横倒し、逆さまにしない。
・棚や押入の中に置かない。
・ホットカーペットの上に置かない。
・布をかけない。

⚠ 警告（移動、設置）（つづき）

周囲に間隔を空ける

周囲に間隔を空けないで設置すると、通気孔がふさがって内部に熱がこもり、火災や故障の原因となります。下記以上の間隔を空けて、熱がこもらないように設置してください。
・上部 :30 cm
・左右 :10 cm
・下部 :10 cm（壁掛けの場合）
・背面 :6 cm

壁に取り付ける場合は、必ず専門の業者に取り付けてもらう

設置時は設置関係者以外近づかない

専門業者以外の人が取り付けたり、取り付けが不適切だと、本機が落下するなどして、打撲や骨折など大けがの原因となることがあります。

スタンドを正しく取り付け、転倒防止の処置を必ず行う

スタンドは本書にしたがって正しく取り付けてください。また、スタンドや床、壁などの間に、適切な転倒防止の処置を行ってください。転倒防止の処置をしないと、本機が倒れてけがの原因となることがあります。

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、本機が落ちたり倒れたりしてけがの原因となります。平らで充分に強度があり、落下しない所に置いてください。

乗り物の中や船舶の中などで使用しない

移動中の振動により、本機が転倒したりして、けがの原因となることがあります。塩水をかぶると、発火や故障の原因となることがあります。

湿気やほこり、油煙、湿気の多い場所や、虫の入りやすい場所、直射日光が当たる場所、熱器具の近くに置かない

火災や感電の原因となることがあります。銭湯や温泉の脱衣場などに設置すると、温泉に含まれる硫黄などにより、硫化したり、高い湿度で本機が故障したりすることがあります。

本機を医療機器の近くに設置しない

医療機器の誤動作の原因となることがあります。

屋外や窓際で使用しない

雨水などにさらされ、火災や感電の原因となることがあります。また、直射日光を受けると、本機が熱を持ち、故障することがあります。海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることがあります。

水のある場所に置かない

水が入ったり、ぬれたり、風呂場で使うと、火災や感電の原因となります。雨天や降雪中の窓際でのご使用は特にご注意ください。

本機の表面が割れたときは、電源プラグをコンセントから抜くまで本機に触れない

電源プラグをコンセントから抜かずに本機に触れると、感電の原因になることがあります。

目や口に液晶を入れない / ガラスの破片に触れない

液晶パネルが破損すると、破損した部分から液晶（液状）が漏れたり、ガラスの破片が飛び散ることがあります。この液晶やガラスの破片に素手で触れたり、口に入れたりしないでください。ガラスの破片に触れるとけがをするおそれがあります。また、漏れた液晶に素手で触れると中毒やかぶれの原因となります。臭いをかぐこともやめてください。誤って目や口に入ったときは、すぐに水で洗い流し、医師にご相談ください。

安全上のご注意（つづき）

⚠ 警告（電源コード・プラグ）

⃠ コンセントや配線機器の定格を超える使いかたや、交流 100V（50/60Hz）以外では使用しない

たこ足配線などで定格を超えると、発熱により火災の原因となります。海外などで異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

⃠ 電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、無理に曲げたり、加熱したりしない

電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線）交換をご依頼ください。そのまま使用すると、コードが破損して、火災・感電の原因となります。

⃠ 電源コードに重いものを載せたり、本機の下敷きにしたりしない

火災・感電の原因となります。

⃠ ゆるいコンセントに接続しない

電源プラグは、根本までしっかりと差し込んでください。根本まで差し込んでもゆるみがあるコンセントにはつながないでください。発熱して火災の原因となることがあります。電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

❗ 電源プラグをつなぐのは、他機器との接続が終わってから

コンセントに差したまま他機器と接続すると、感電の原因になることがあります。他機器との接続が終わった後に、電源コードを本機につないでから電源プラグを壁のコンセントに差してください。

❗ 電源プラグは定期的にお手入れを

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを取ってください。

❗ お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れすると、感電の原因となることがあります。

⃠ ぬれた手で電源プラグにさわらない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因になることがあります。

⃠ 電源コードを引っ張らない

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードに傷が付き、火災や感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

⃠ 雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

感電の原因となります。

⃠ 他の電源コードを本製品に使用したり、付属の電源コードを他の商品に使用しない。

火災・感電・ショートの原因となります。

⚠ 警告（使用）

本機にぶらさがらない

本機が壁からはずれたり、倒れたりして、本機の下敷きになり、大けがの原因となることがあります。

煙やにおい、音などの異常が発生したら、本機の電源を切り、電源プラグを抜く

異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。修理をお買い上げ店に依頼してください。お客様自身による修理は絶対におやめください。

内部に水や異物を入れない
本機の上に熱器具、花瓶など液体が入ったものやローソクを置かない

内部に水や異物が入ると火災の原因となります。万一、水が異物が入った場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、修理をお買い上げ店に依頼してください。

分解や改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、裏ぶたを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となります。内部の点検や修理はお買い上げ店にご依頼ください。

⚠ 警告（電池）

電池を火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱、充電しない

電池の破損・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池はプラスとマイナスの向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れる

間違えると電池の破損・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池を使い切ったときや、長時間使わないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液がもれ、故障・火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

指定以外の電池を使わない。新しい電池と古い電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

電池の破損・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

安全上のご注意（つづき）

⚠ 注意

お手入れのときや、旅行などで長期間ご使用にならないときは、電源プラグを抜く

お手入れのときや、本機を長時間使用しないときは、安全のため、必ず電源プラグを抜いてください。本機は電源スイッチを切っただけでは、完全に電源からは切り離されておらず、常に微弱な電流が流れています。完全に電源から切り離すためには電源プラグをコンセントから抜く必要があります。コンセントは製品の設置場所に一番近く、抜き差しがしやすい場所を選んでください。

電源コードを熱器具に近づけない

電源コードの被覆が溶けて火災・感電の原因となることがあります。

人が通行するような場所に置かない・コード類は正しく配置する

電源コードや信号ケーブルは、足に引っかけると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。人が踏んだり、引っかけたりするような恐れのある場所を避け、充分注意して接続・配置してください。

たこ足配線をしない

火災・感電の原因となることがあります。

重いものを置いたり、上に乗ったりしない

倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。特にお子様やペットにはご注意ください。

電源プラグは確実に差し込む

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと発熱したり、ほこりが付着して火災・感電の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

液晶画面に物をぶつけない

ガラスが割れ、飛び散ったガラスにより、けがの原因となります。

⚠ 音量について

周囲の人の迷惑とならないよう適度の音量でお楽しみください。特に、夜間での音量は小さい音でも通りやすいので、窓を閉めたりヘッドホンを使用したりして、隣近所への配慮を充分にし、生活環境を守りましょう。ヘッドホンを使用されるときは、耳を必要以上に刺激しないよう、適度な音量でお楽しみください。耳を強く刺激するような大きな音で長時間続けて聞くと、聴覚に悪い影響を及ぼすことがあります。耳鳴りがするような場合は、音量を下げるか、使用を中止してください。また、ヘッドホンをつけたまま眠ってしまうと、災害時などに避難が遅れてしまうなどの危険があります。呼びかけられたら返事ができるくらいの音量でお聞きください。

⚠ 注意（電池）

指定された種類の電池を使用する

間違えると電池の破損・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池は幼児の手の届くところに置かない

電池は飲み込むと、窒息の原因となったり、胃などに止まったりして大変危険です。飲み込んだ恐れがあるときは、ただちに医師と相談してください。

電池の液がもれたときは素手でさわらない

・電池の液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。
・皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に霜害を起こす恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など傷害の症状があるときは、医師に相談してください。

⚠ 廃棄するときは

廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

⚠ 注意（廃棄）

一般の廃棄物と一緒にしない

一般の廃棄物と一緒にしないでください。ごみ廃棄場で処分されるごみの中に本機を捨てないでください。

家電リサイクル法に従って廃棄する

家電リサイクル法の規定により、お客様がご使用済みのテレビを廃棄される場合は、収集・運搬と再商品化等料金をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村などの自治体に適正に引き渡すことが求められています。
詳細に関するお問い合わせは、家電製品協会 家電リサイクル券センターまでお願いいたします。
電話：（フリーダイヤル）0120-319640
ホームページ（URL）:
http://www.rkc.aeha.or.jp/text/p_procedure.html

使用上のご注意・お手入れについて

液晶画面について

- 液晶画面を太陽に向けたままにすると、液晶画面を傷めてしまいます。屋外や窓際には置かないでください。
- 液晶画面を強く押したり、ひっかいたり、上に物を置いたりしないでください。画面にムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。
- 寒いところでご使用になると、画像が尾を引いて見えたり、画面が暗く見えたりすることがありますが、故障ではありません。温度が上がると元に戻ります。
- 静止画を継続的に表示した場合、残像を生じることがありますが、時間の経過とともに元に戻ります。
- 使用中に画面やキャビネットがあたたかくなることがありますが、故障ではありません。

輝点・滅点について

- 画面上に赤や青、緑の点（輝点）が消えなかったり、黒い点（滅点）が表れたりしますが、故障ではありません。液晶画面は非常に精密な技術で作られており、99.99% 以上の有効画素がありますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素があります。

スクリーン画面のお手入れについて

- お手入れをする前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 液晶の画面は特殊加工がされていますので、なるべく画面に触れないようにしてください。また画面の汚れをふきとるときは、乾いた柔らかい布でふきとってください。
- アルコール、シンナー、ベンジンなどは使わないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その販売会社にご確認ください。
- 布にゴミが付着したまま強くふいた場合、傷が付くことがあります。
- 殺虫剤のような揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり塗装がはげたりすることがあります。

外装のお手入れについて

- 乾いた柔らかい布で軽くふいてください。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤溶液を少し含ませた布でふきとり、乾いた布でカラ拭きしてください。
- アルコールやベンジン、シンナー、殺虫剤をかけると、表面の仕上げを傷めたり、表示が消えてしまうことがあるので、使用しないでください。
- 布にゴミが付着したまま強くふいた場合、傷が付くことがあります。
- ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。

電磁波妨害に注意してください

- 本機の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。

長時間ご使用にならないとき

- 長時間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

国外では使用できません

- この製品が使用できるのは日本国内だけです。電源電圧が異なりますので使用できません。

  This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

取り扱い上のご注意

- 液晶画面を強く押したり、ボールペンのような先の尖ったもので押さないでください。また、落としたり強い衝撃を与えないようにしてください。特に液晶画面のパネルが割れることがあります。
- 振動の激しいところや不安定なところに置かないでください。また、絶対に落としたりしないでください。故障の原因となります。

使用上のご注意・お手入れについて（つづき）

使用環境について

- 本機を冷えきった状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、動作部に露が生じ（結露）、本機の性能を十分に発揮できなくなるばかりでなく、故障の原因となることがあります。このような場合は、よく乾燥するまで放置するか、徐々に室温を上げてからご使用ください。
- 周辺温度は 0 ～ 35℃の範囲内でご使用ください。正しい使用温度を守らないと、故障の原因となります。

急激な温度差がある部屋（場所）でのご使用は避けてください

- 急激な温度差がある部屋（場所）でのご使用は、画面の表示品位が低下する場合があります。

リモコンの取り扱いについて

- 落としたり、踏みつけたり、液体をこぼしたりしないよう、ていねいに扱ってください。
- 直射日光が当たるところ、暖房器具のそばや湿度が高いところには置かないでください。

映像や音声の遅れについて

- 外部入力のソースによっては、映像や音声に若干の遅れが生じる場合があります。映像、音声でリズムを取るテレビゲームやカラオケ機器によっては、違和感を感じる場合がありますが、故障ではありません。あらかじめご了承ください。

USB ハードディスクについて

- USBハードディスクを本機に正しく接続してください。
- 動作中は、テレビ本体、または本機に接続した USB ハードディスクの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりしないでください。ハードディスクの故障の原因になります。

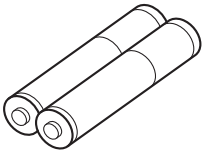
付属品を確認する

本製品をご使用になる前に、以下の物が全てそろっているか確認してください。万が一、不足しているものや破損している場合は、販売店、サービス／コールセンター（TEL：0570-021-051）までご連絡ください。

取扱説明書 × 1 部

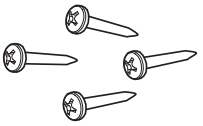
保証書 × 1 部

リモコン× 1 台

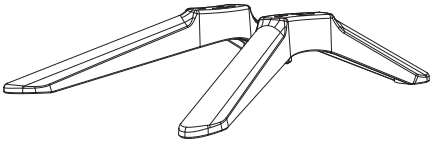


リモコン用乾電池×２（単４形）

スタンド一式



スタンド取り付け用ネジ× ４本



スタンド× ２本

準備

「準備」の項目はテレビをお楽しみいただくために本製品の各部の名称、主な機能、リモコンのボタンの説明などをご案内いたします。

ページ

各部の名前 14

リモコンについて 17

設置のしかた 18

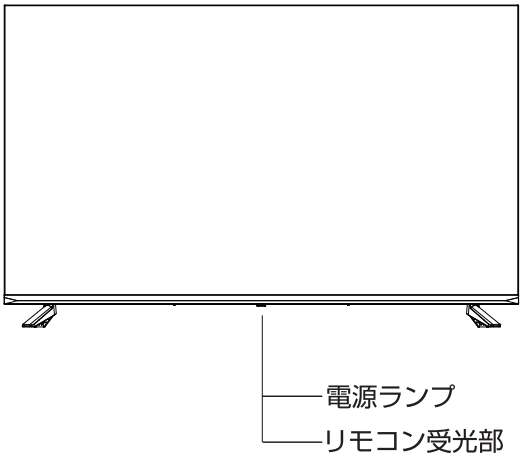
電源コードの接続 20

他の機器との接続 21

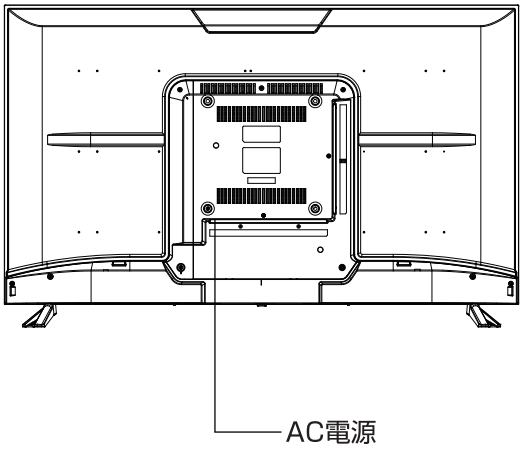
各部の名前

本体操作部

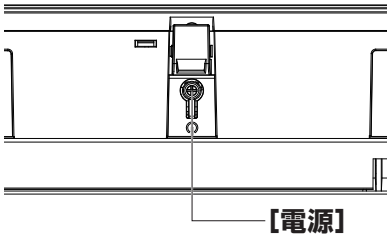
（正面）



（背面）



（底面）



[電源]

スタンバイと電源オンの切り替えを行います。

⚠ご注意

- スタンバイのときでも微弱な電流が流れるため、電力を消費し続けます。旅行など，本機を長時間使用しない場合、AC 電源のプラグを抜いてください。

お知らせ

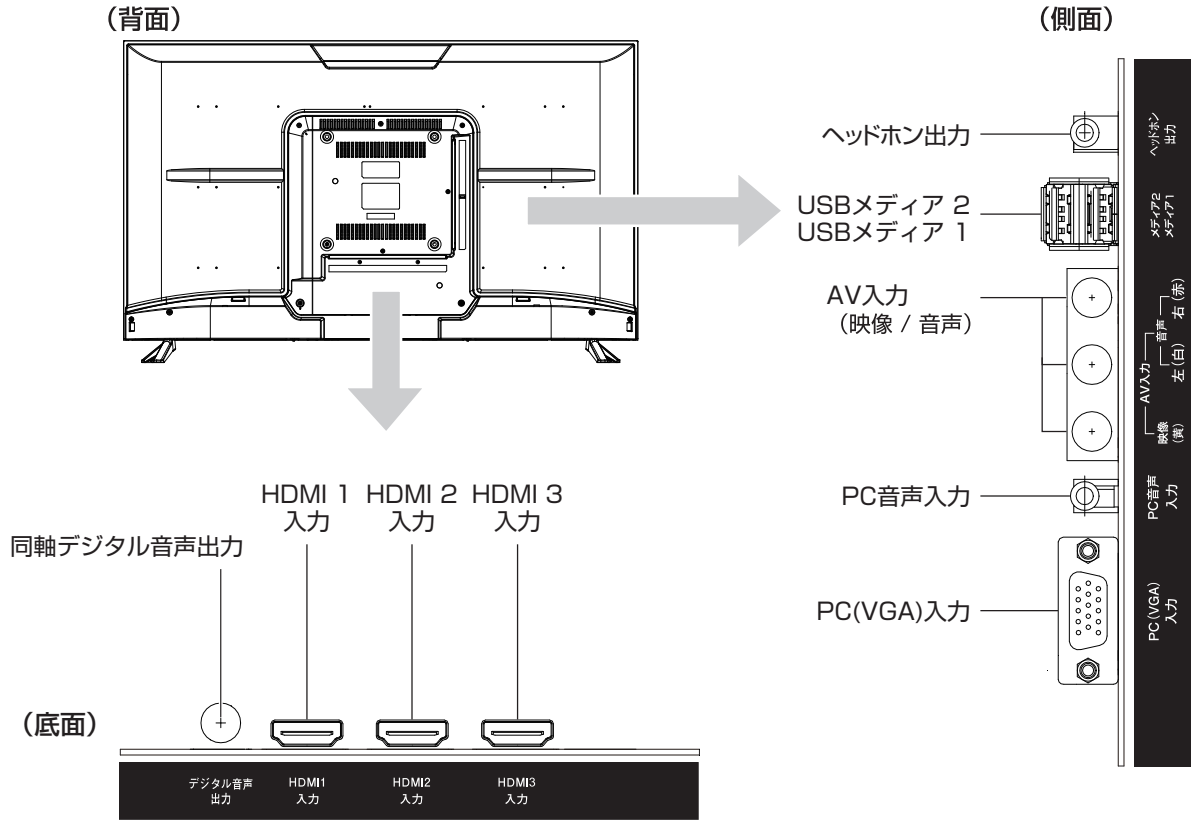
- 電源ランプは本機の状態により以下のように点灯します。

スタンバイ :	赤
電源オン :	緑

・付属のリモコン以外で操作しても、LED ランプが点滅するときがあります。

各部の名前（つづき）

本体接続部



（底面）

同軸デジタル音声出力（SPDIF）
市販の同軸ケーブルを使用して対応機器を接続します。

HDMI 1（ARC）入力
市販のHDMIケーブルを使用して対応機器を接続します。
ARC機能を使用する時はデジタルオーディオアンプに接続します。

HDMI 2 入力
市販のHDMIケーブルを使用して対応機器を接続します。

HDMI 3 入力
市販のHDMIケーブルを使用して対応機器を接続します。

（側面）

ヘッドホン出力
ヘッドホンと接続します。

USBメディア 2
対応機器を接続します。

USBメディア 1
対応機器を接続します。

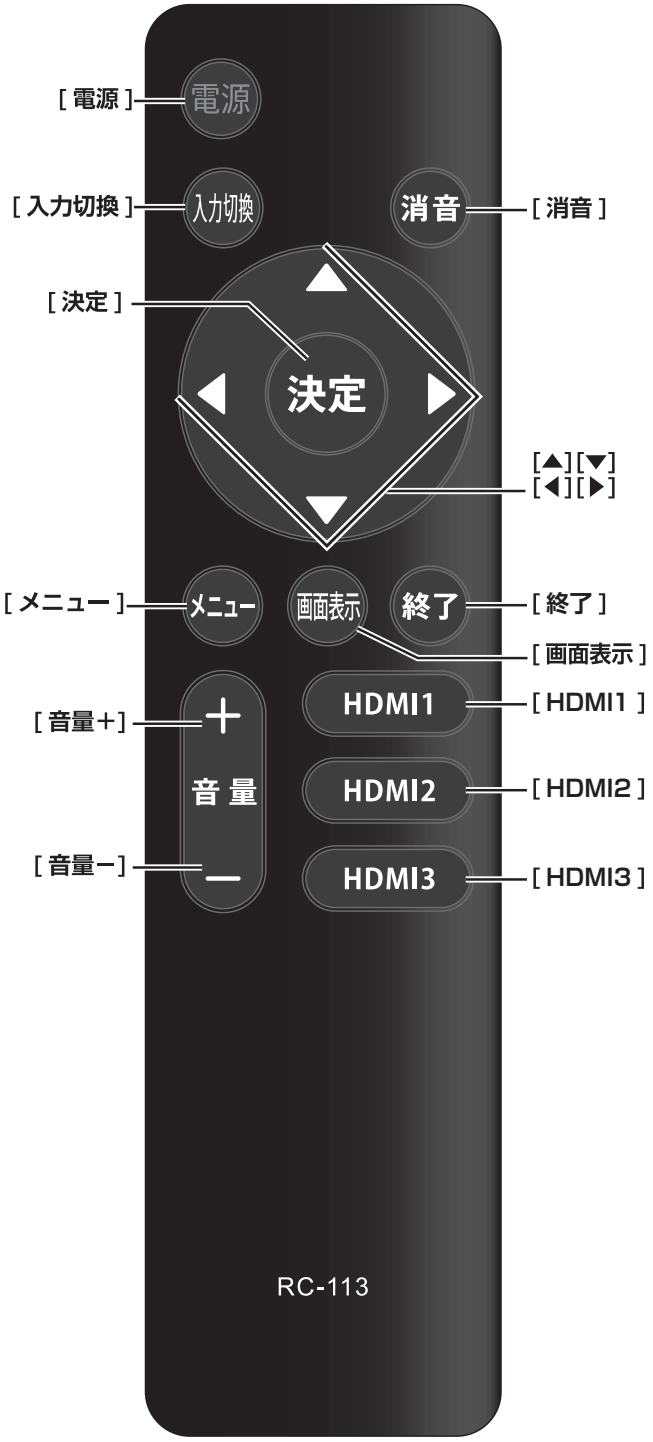
⚠ご注意
- USBメディア端子の供給電力量は5V 500mAです。HDMIドングルの電源に使用すると、電力が不足して、不安定になる場合があります。

AV入力（映像 / 音声）
市販のAVケーブルを使用して対応機器を接続します。

PC音声入力
市販の3.5mmステレオ音声プラグ付きケーブルを接続します。

PC(VGA)入力
市販のVGAケーブルをPC（パソコン）と接続します。

リモコン



[電源]
スタンバイと電源オンの切り換えを行います。

[消音]
消音します。もう一度押すと元の音量に戻ります。

[メニュー]
メニュー画面を表示します。前のメニューに戻ります。メニューを終了します。

> **⚠ご注意**
> ● 画面表示ではメニュー、設定、MENUと表示される場合があります。

[入力切換]
入力リストから接続している外部機器の映像に切り換えます。

[決定]
[▲]/[▼]/[◀]/[▶] での選択を確定します。

[▲]/[▼]/[◀]/[▶]
メニュー操作中などに、項目を選択します。

[戻る]
前の表示に戻ります。

[画面表示]
入力信号などの情報を表示します。

[終了]
メニューを終了します。

[音量 +]/[音量−]
スピーカー（またはヘッドホン）の音量を調節します。

[HDMI 1]
HDMI 1をダイレクトに選びます。

[HDMI 2]
HDMI 2をダイレクトに選びます。

[HDMI 3]
HDMI 3をダイレクトに選びます。

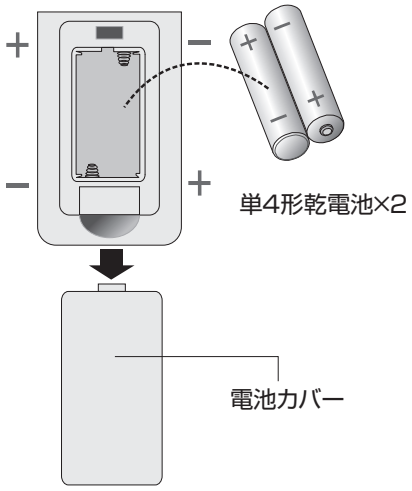
リモコンについて

電池の入れ方

❶電池カバーを開ける

❷＋極、－極の向きを確認し、正しい方向で単４電池の１本目を入れる

❸続けて同様に２本目の電池を入れ、電池カバーがカチッというまで押して閉める



⚠ご注意

電池は誤った使い方をすると液漏れや破裂することがあります。特に以下の点に注意してお使いください。

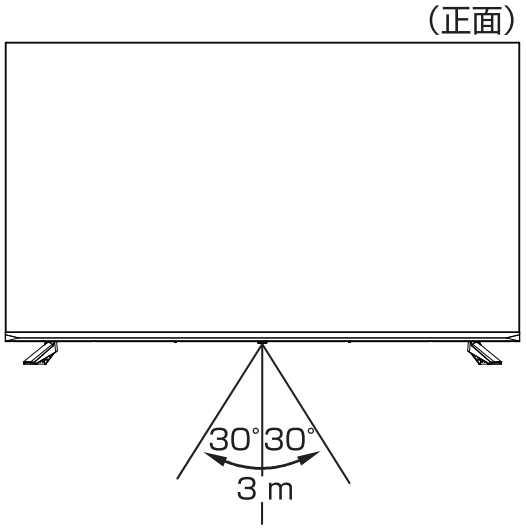
- 違う種類の電池を混ぜて使用しない。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
- 使えなくなった電池はすぐに取り出す。
- 液漏れした電池は使用しない。
  漏れた液に触れると肌が荒れることがあります。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

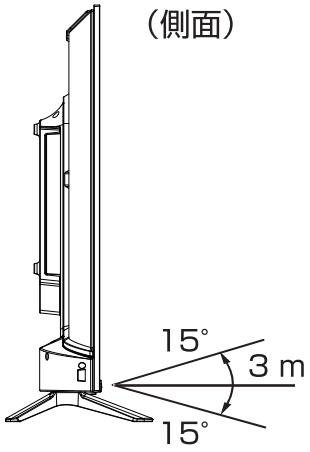
お知らせ

- 付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。
- リモコンを長く使わないときは電池を取り出しておいてください。
- 電池を廃棄するときはお住まいの自治体で定める廃棄方法に従ってください。

操作のしかた

本体のリモコン受光部に向けて操作してください。





⚠ご注意

- リモコンには衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり温度の高い所に置いたりしないでください。
- リモコンは直射日光の当たる場所に取り付けたり、放置したりしないでください。熱により変形することがあります
- 本体のリモコン受光部に直射日光や強い照明が当たっているとリモコンが動作しにくくなることがあります。その場合は照明または本体の向きを変えるか、リモコン受光部にリモコンを近づけて操作してください。
- リモコンを操作してもテレビが動作しない場合は、新しい乾電池と交換してください。

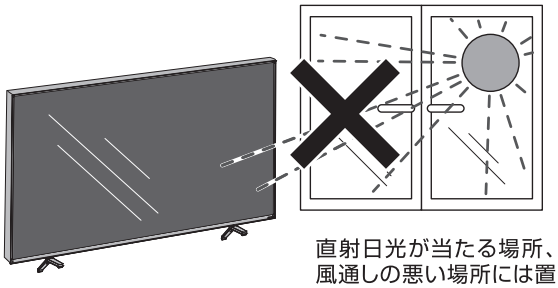
設置のしかた

本機は重量のある精密機器です。運搬や設置を行う際は、落下や転倒に十分注意してください。また、水平で安定した場所に設置するようにしてください。設置はできるだけ専門業者に依頼してください。

設置の手順

1 置く場所を決める

- 直射日光が当たらず、気温が安定している場所を選んでください。
- グラつきなどがなく、きちんと固定できる場所を選んでください。



直射日光が当たる場所、風通しの悪い場所には置かない。

2 台座をつける

● (☞ 19ページ)

⚠ご注意

- 壁掛けの設置をする場合以外は、台座を外さないでください。
- 液晶パネル部に手を触れないようにご注意ください。

3 配置する

⚠ご注意

- 液晶パネル部に手を触れないようにご注意ください。

4 転倒防止策を実施する

市販の転倒防止器具を使って転倒防止策を実施してください。

⚠ご注意

- 本機が転倒するとお客様のけがや本機の故障につながります。必ず転倒防止策を行ってください。
- 上記の方法で本機の固定ができない場合は、お買い上げ店などにご相談ください。

壁に掛けるとき

本機を市販の壁掛け用の金具を使用して壁に掛けることもできます。

テレビ本体背面の VESA 規格のねじ穴を使用します。

(☞ 39ページ)

⚠ご注意

- 壁に掛ける際は、必ずお買い上げ店または工事業者にご依頼ください。

通風孔について

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。風通しの悪い場所(棚や押入れの中など)や、じゅうたんや布団の上に置かないでください。また布をかけたりしないでください。定期的に掃除機で通風孔にたまったごみを除去してください。

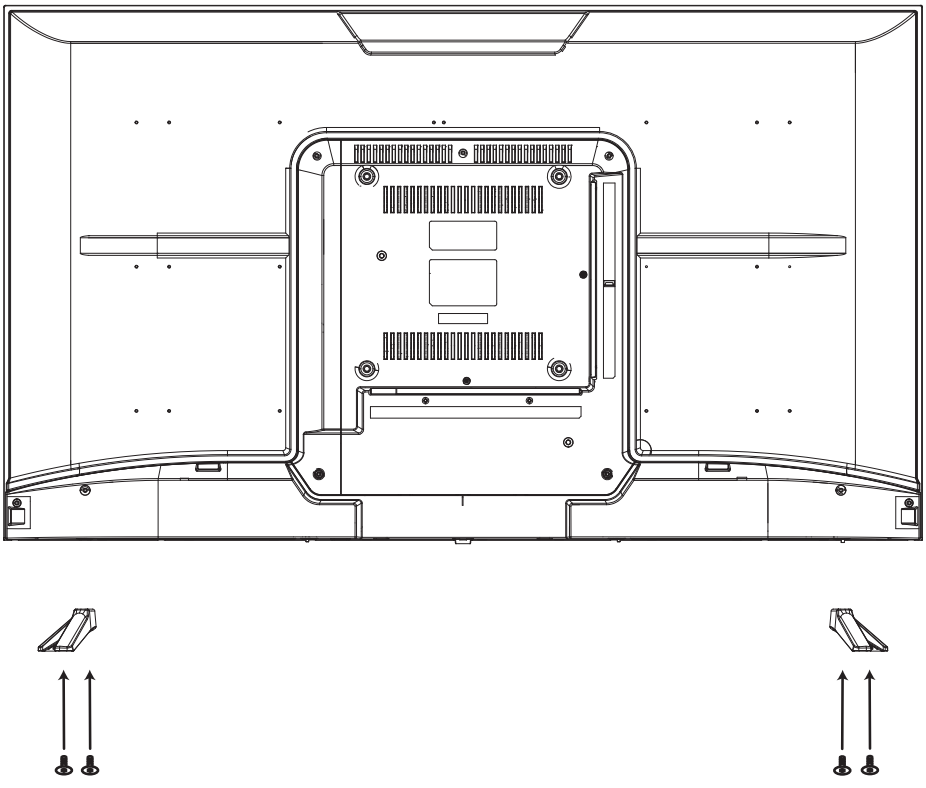
スタンドをつける

⚠ご注意

- 組み立てる際は、つなぎ目の端部などでけがをしないように、手袋を着用してください。
- 液晶パネルを傷つけないよう取り扱いにご注意ください。
- スタンド取り付けネジは付属品袋に入っています。
- 固定後にぐらつきがないように、確実にネジが締まっていることを確認してください、。

❶台の上に厚手のやわらかい布を敷き、本製品の液晶パネルを下側にして寝かせます。

❷スタンドネック底面の左右にスタンドを差し込み、それぞれプラスドライバーを使用して、ネジ(2 本)で固定します。



電源コードの接続

接続する

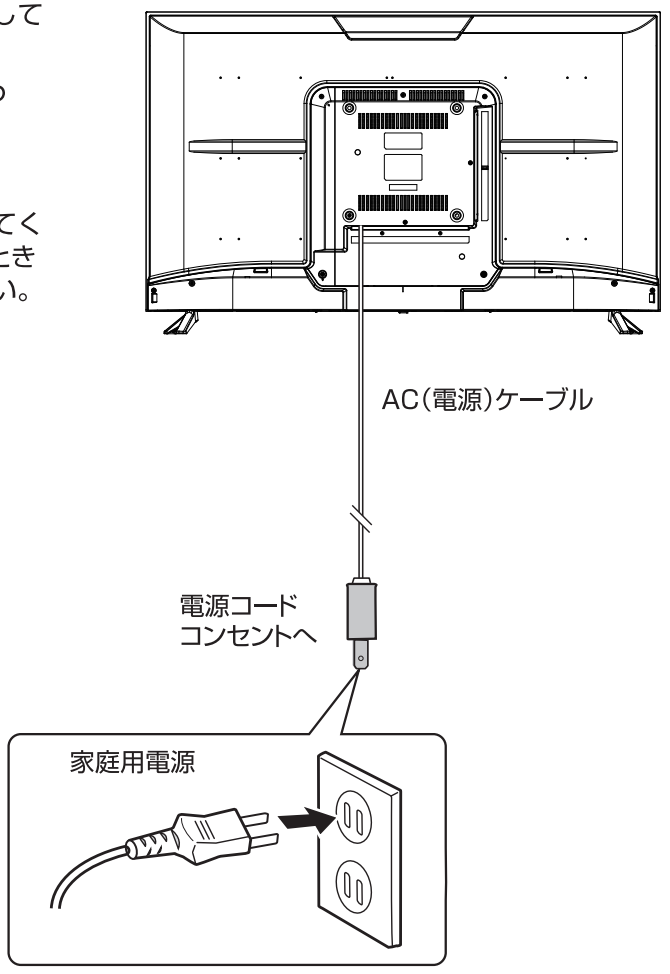
全ての接続が終わったら、最後に電源コードを接続してください。

● コンセントに電源コードのプラグを挿入する

本機前面の電源ランプが赤く点灯します。

お知らせ

● 通常は電源プラグをコンセントに差したままにしてください。お手入れの際や長時間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。



電源に関するご注意

- 電源コードは必ず最後に接続してください。
- 電源プラグは、抜き差しがしやすい位置の、壁のコンセントに直接差すようにしてください。
- 使用中に電源プラグを抜いたり、電源を突然遮断しないようにしてください。設定などが無効になってしまうことがあります。

準備

他の機器との接続

本機では、他の機器を接続して映像や音を楽しみます。

⚠ご注意

- 接続の前に、本機や接続する機器の電源をお切りください。
- 接続ケーブルの抜き差しは、ケーブルでなくプラグを持ってしっかりと行ってください。
- ノイズが出る場合は、機器間の距離が十分にとれるように配置してください。
- 接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

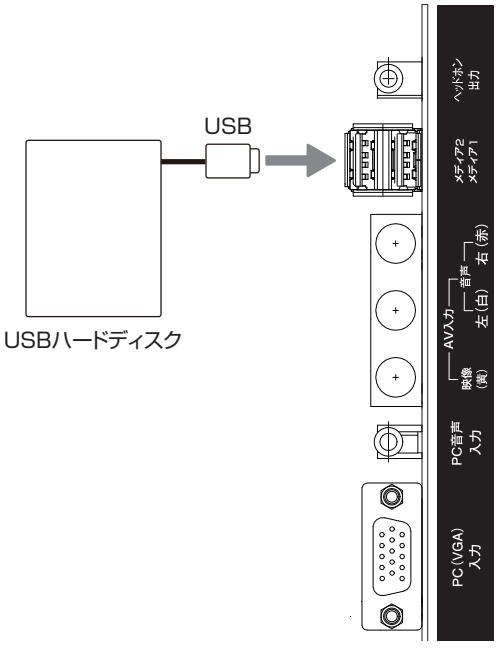
USB ハードディスクを接続する

別売のUSBスティック、USBハードディスクをメディア端子に1台接続することができます。(☞ 15 ページ)

お知らせ

- メディア端子にはUSBスティック、USBハードディスク以外のUSB機器の使用はできません。
- USBスティック、USBハードディスクには本機との相性で使用できない場合があります。

(側面)



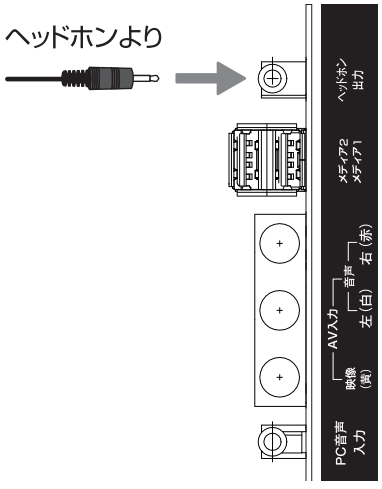
ヘッドホンを接続する

市販のヘッドホンのプラグを、本機のヘッドホンジャックに接続します。[音量+]/[音量ー]で音量を調整します。

⚠ご注意

- 大きな音量設定でヘッドホンプラグを抜くと、スピーカーから大きな音が出ます。音量を下げてから、ヘッドホンプラグを抜くようにしてください。
- ヘッドホンを使用されるときは、耳を必要以上に刺激しないよう、適度な音量でお楽しみください。耳を強く刺激するような大きな音で長時間続けて聞くと、聴覚に悪い影響を及ぼすことがあります。耳鳴りがするような場合は、音量を下げるか、使用を中止してください。また、ヘッドホンをつけたまま眠ってしまうと、災害時などに避難が遅れてしまうなどの危険があります。呼びかけられたら返事ができるくらいの音量でお聞きください。

(側面)

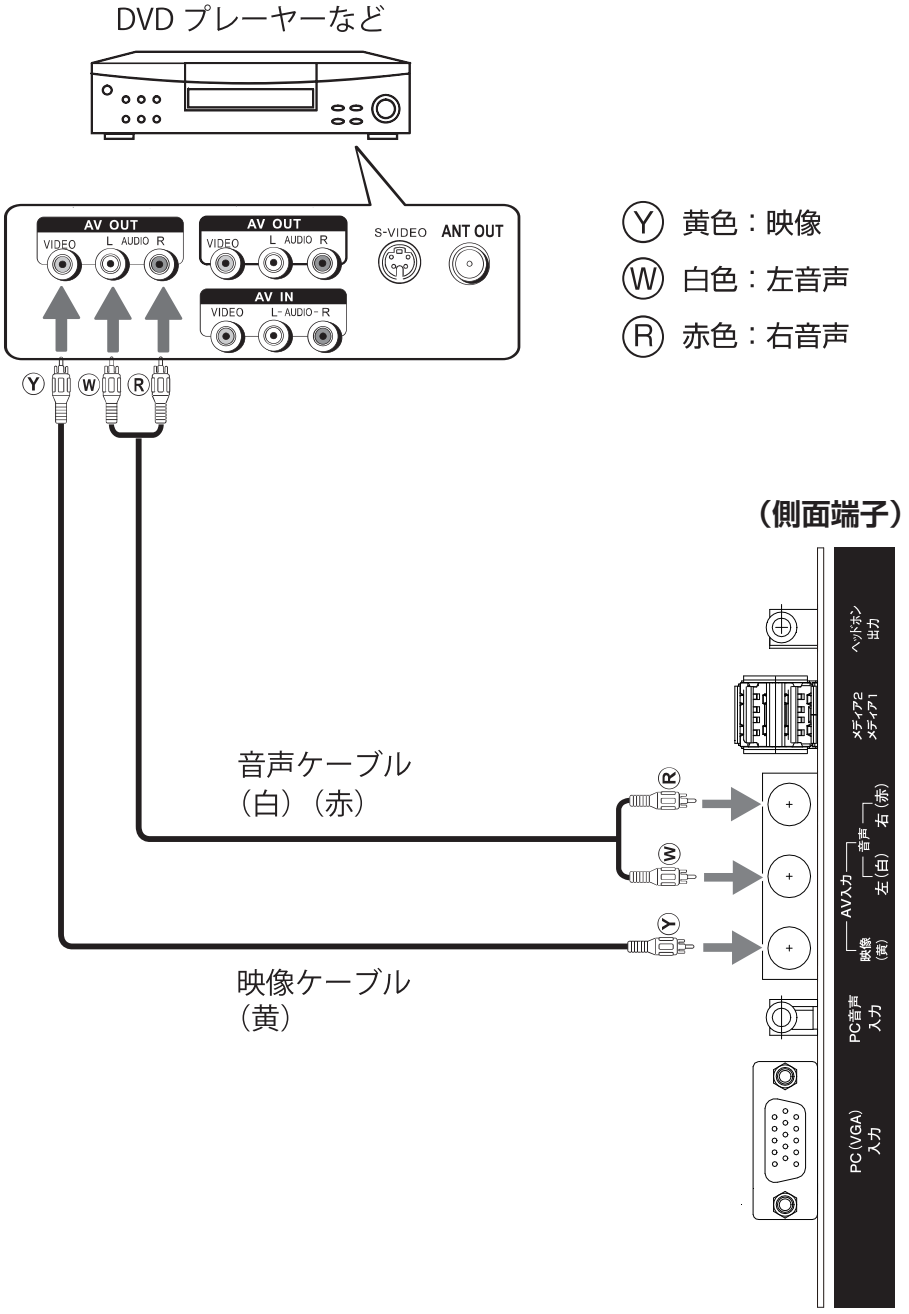


他の機器との接続（つづき）

DVD プレーヤーなどを接続する

AV入力端子に接続する

市販のAVケーブルで、DVDプレーヤーなどのAV出力端子と本機のAV入力端子を接続します。音声は音声ケーブルをAV入力端子の音声プラグに接続します。赤と白のプラグを音声端子に、プラグと端子の色をそれぞれ合わせるようにして接続してください。

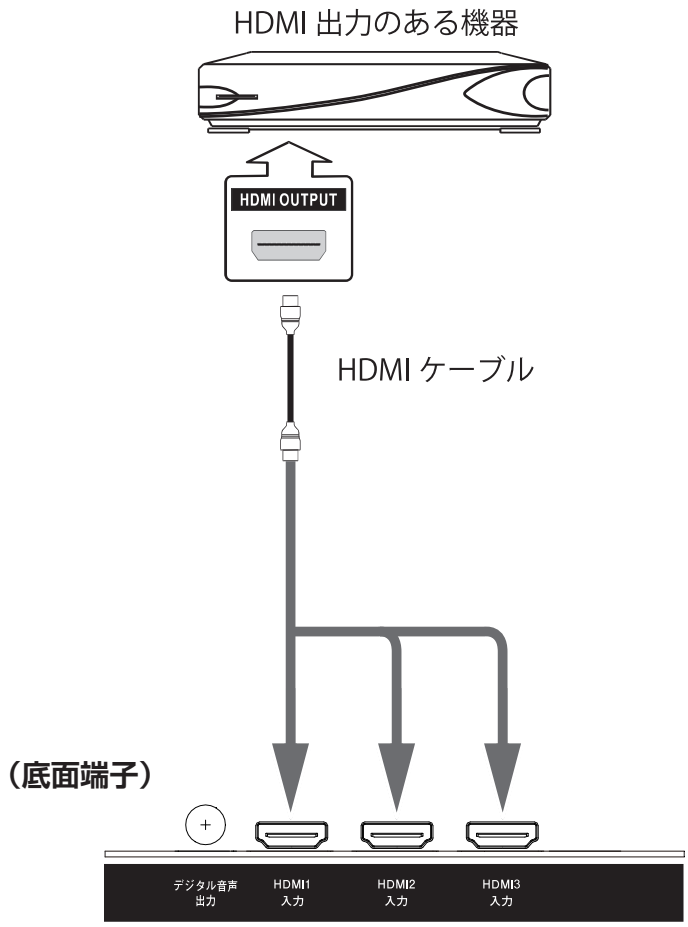


HDMI 入力端子に接続する

市販の HDMI ケーブルを使い、ブルーレイレコーダー、HDD レコーダー、デジタルチューナーなどの HDMI 出力と本機のHDMI入力1端子またはHDMI2入力端子、HDMI3入力端子のいずれかとつないでください。HDMIケーブルはデジタル信号で映像と音声を1本で接続します。

お知らせ

- パソコンなどの DVI 出力のある機器との接続は保証しておりません。
- 映像・音声が表示・出力されない場合は、接続する機器の説明書などで出力機器の設定をご確認ください。



他の機器との接続（つづき）

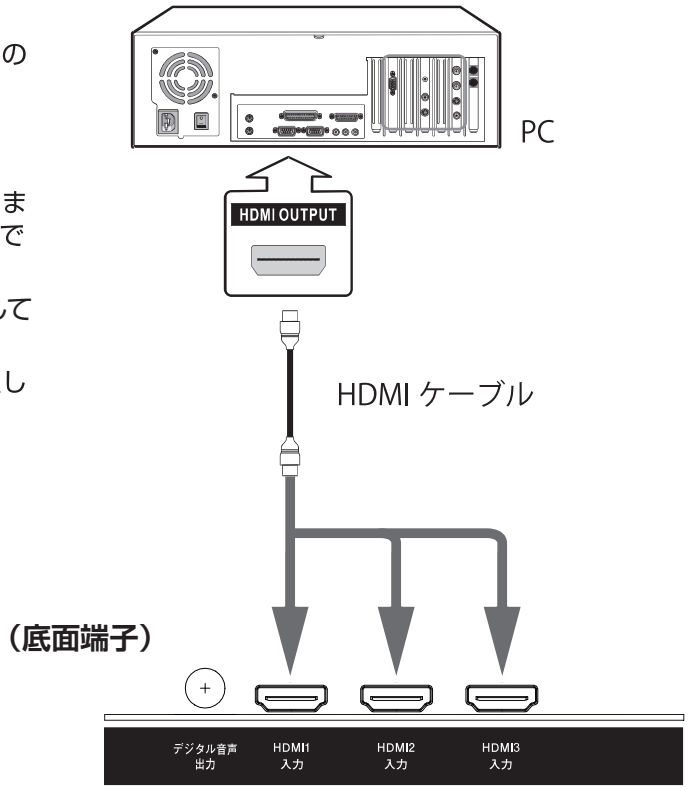
パソコンを接続する

● HDMI ケーブルで接続する

HDMI ケーブルでパソコンの HDMI 出力と、本機の HDMI 入力端子を接続します。

お知らせ

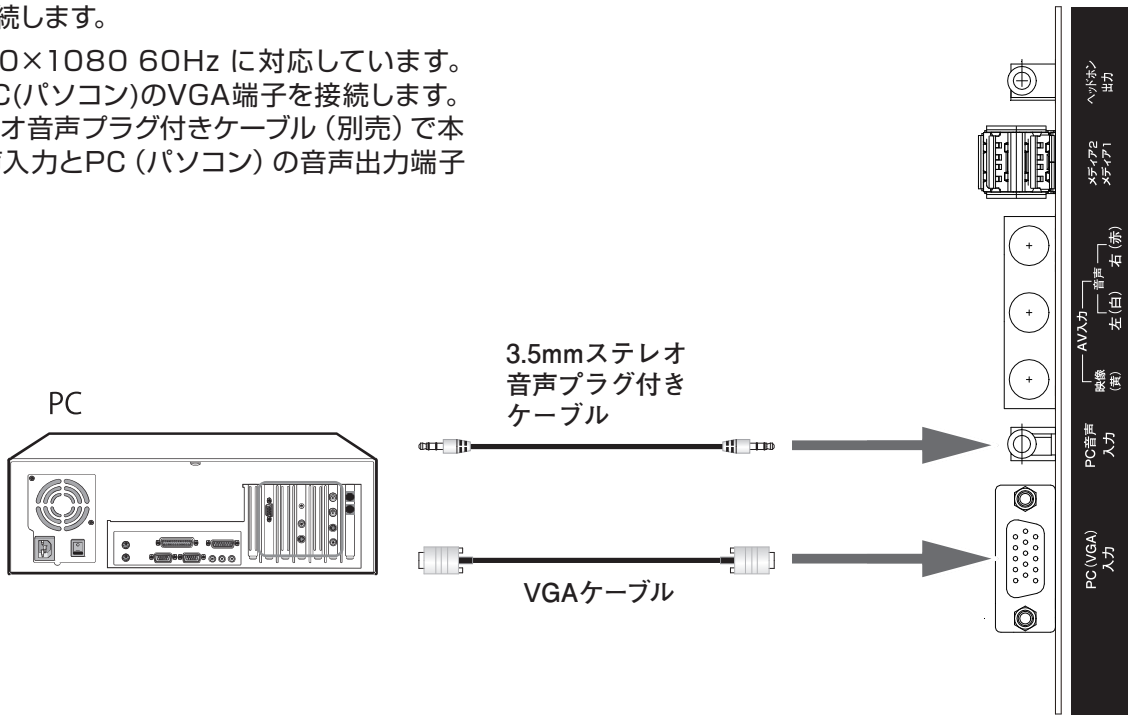
- 全てのパソコンでの動作検証は行っておりません。また、パソコンのビデオカードなどによっては、表示できない場合があります。
- 必要に応じて**アスペクト比**（☞30ページ）を設定してください。
- パソコンなどの DVI 出力のある機器との接続は保証しておりません。
- HDMIモードでAUTO、HDMI1、PCを選ぶ。
  テキスト画面の時はPCを選ぶ。
  （☞ 30ページ）



●VGAケーブルで接続する

VGA端子と接続します。

解像度は1920×1080 60Hz に対応しています。
VGA端子とPC(パソコン)のVGA端子を接続します。
3.5mmステレオ音声プラグ付きケーブル（別売）で本製品のPC音声入力とPC（パソコン）の音声出力端子を接続します。



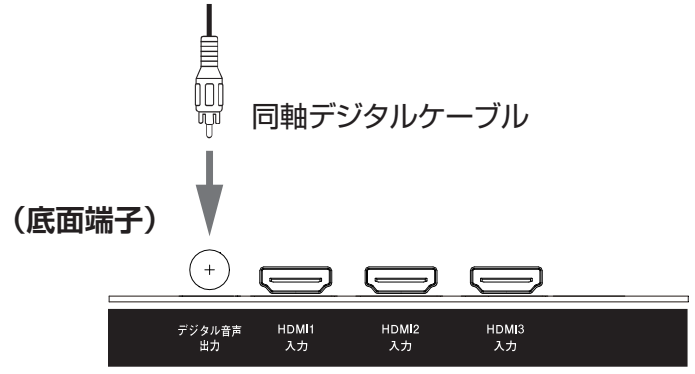
同軸デジタルケーブルで AV アンプなどを接続する

市販の同軸デジタルケーブルでAVアンプなどの同軸デジタル音声入力と、本機の同軸デジタル音声出力を接続します。同軸デジタル接続を使用することにより、AVアンプなどから音声を出力し、5.1chの臨場感のある高音質な音声を楽しむことができます。本機では接続する機器に応じてデジタル音声出力(SPDIF)の設定を以下の二つから選ぶことができます。(☞ 31 ページ)

PCM: MPEG-2 AAC またはドルビーデジタルに対応していないオーディオ機器に接続する場合に設定します。ただしサンプリングコンバータを内蔵している必要があります。

自動: MPEG2 AAC またはドルビーデジタルの信号をそのまま出力します。

なし: 出力されません。



HDMI 連動 (CEC) 対応機器と接続する

市販の HDMI ケーブルを使い、HDMI 連動 (CEC) 対応機器 (AV アンプ、DVD レコーダーなど) を接続することにより、本機のリモコンで操作が可能です。
(☞ 31 ページ)

本機の HDMI1 入力端子は ARC (オーディオリターンチャンネル) に対応しています。ARC 対応の AV アンプと HDMI ケーブルで接続することにより、デジタル音声を AV アンプに出力することができます。接続する AV アンプによって、デジタル音声出力設定をすることができます。

お知らせ

- HDMI 連動 (CEC) に対応した、AV アンプと DVD レコーダーを同時に使用する場合は、本機とレコーダーの間に AV アンプを接続してください。また DVD レコーダー再生時に、映像より音声が進んで聞こえる場合は、AV アンプの音声遅延設定で調整してください。
- HDMI 連動 (CEC) 対応機器を使用するには、HDMI 設定が必要です。(☞ 31 ページ) また接続する AV アンプや DVD レコーダー側の設定も必要です。詳しくは各機器の取扱説明書をお読みください。

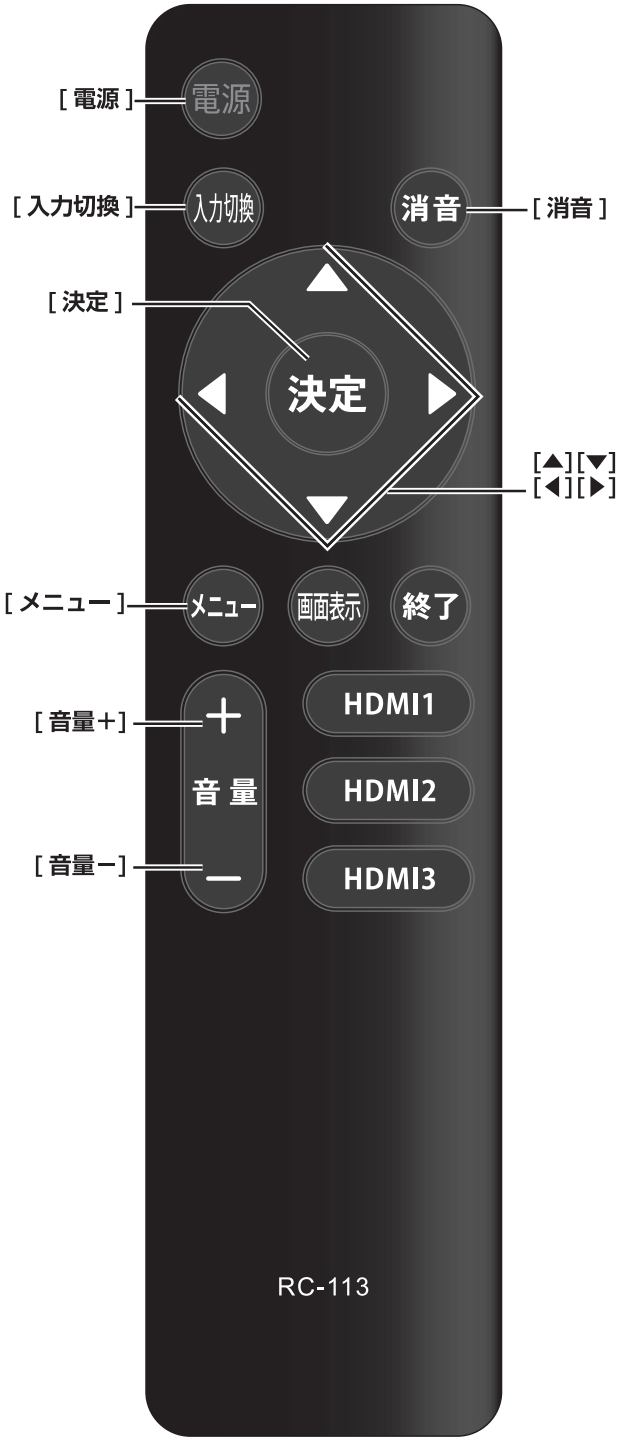
テレビを見る

この章では、テレビを見るための基本的な使いかたについて説明しています。

ページ

テレビの操作 27

テレビの操作



電源を入れる / 切る

電源を入れる

● **[電源]** を押す
本体の電源ランプが緑に点灯します。

電源を切る

● もう一度、**[電源]** を押す

⚠ご注意

● 本機は **[電源]** を押して電源を切った状態のときは、常に微弱な電流が流れています。旅行など、本機を長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。(電源ランプ：消灯)

音量を調節する

● **[音量 +]**/**[音量ー]** を押す

一時的に音を消す

● **[消音]** を押す

もとに戻すには

- **[消音]** を再度押す
- **[音量 +]** を押す

メニューについて

● **[メニュー]** を押すと、設定したい項目が表示されます。
映像設定
音声設定
タイマー設定
オプション
がカーソル **[◀]** / **[▶]** によって表示されます。
(☞ 29ページ)

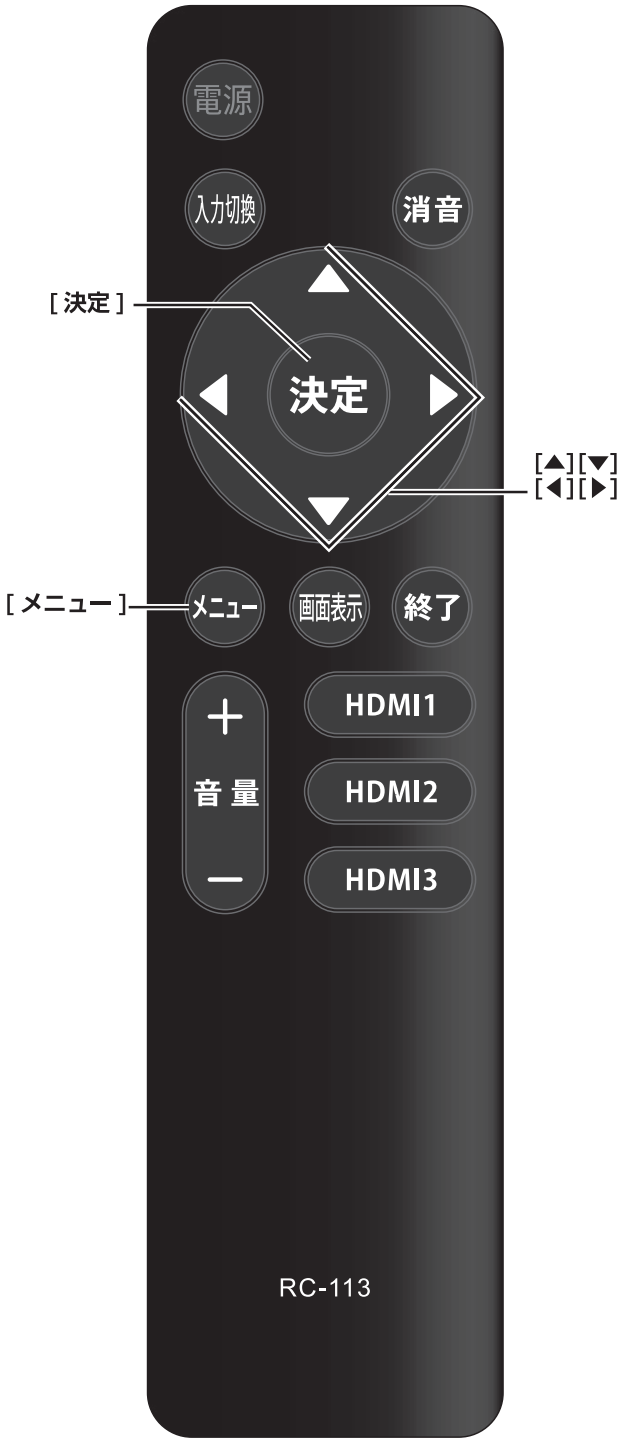
メニュー

この章ではメニューを使っての設定・操作方法についてご説明いたします。

ページ

メインメニューの使い方 29

メインメニューの使い方



[メニュー] を押してメインメニューを開きます。
[◀] / [▶] を押して、映像設定、音声設定、タイマー設定、オプションを選びます。
もう一度 **[メニュー]** を押すと、メニューを終了したり、前の画面に戻ります。

映像設定メニュー

[▼] / [▲] で設定したい項目を選びます。

【映像モード】
[▼] / [▲] で映像モードを選び、決定を押します。
映像モードはダイナミック、標準、マイルド、ユーザーを選べます。
ダイナミック： 明るい室内などで見る時に使います。
標準： 普通の明るさの室内などで見る時に使います。
マイルド： 輪郭の強調などを押さえた画面です。
ユーザー： お好みの画質に合わせて見ることができます。
ユーザー設定の時に、コントラスト、ブラックレベル、色の濃さ、色合い、シャープネスを変えることができます。

【コントラスト】
明暗の強さを調整します。

【ブラックレベル】
黒レベルを動かして、画面の輝きを調整します。

【色の濃さ】
色の濃さを調整します。

【色合い】
数字を大きくすると赤っぽく、数字を小さくすると緑っぽくなります。

【シャープネス】
画像の輪郭を補正し、くっきりさせます。

【色温度】
画像を見る照明の環境、好みに合わせて、テレビの色温度を変えます。
寒色： 青っぽい画像になります。
ノーマル： 標準の色温度です。
暖色： 赤っぽい画像になります。

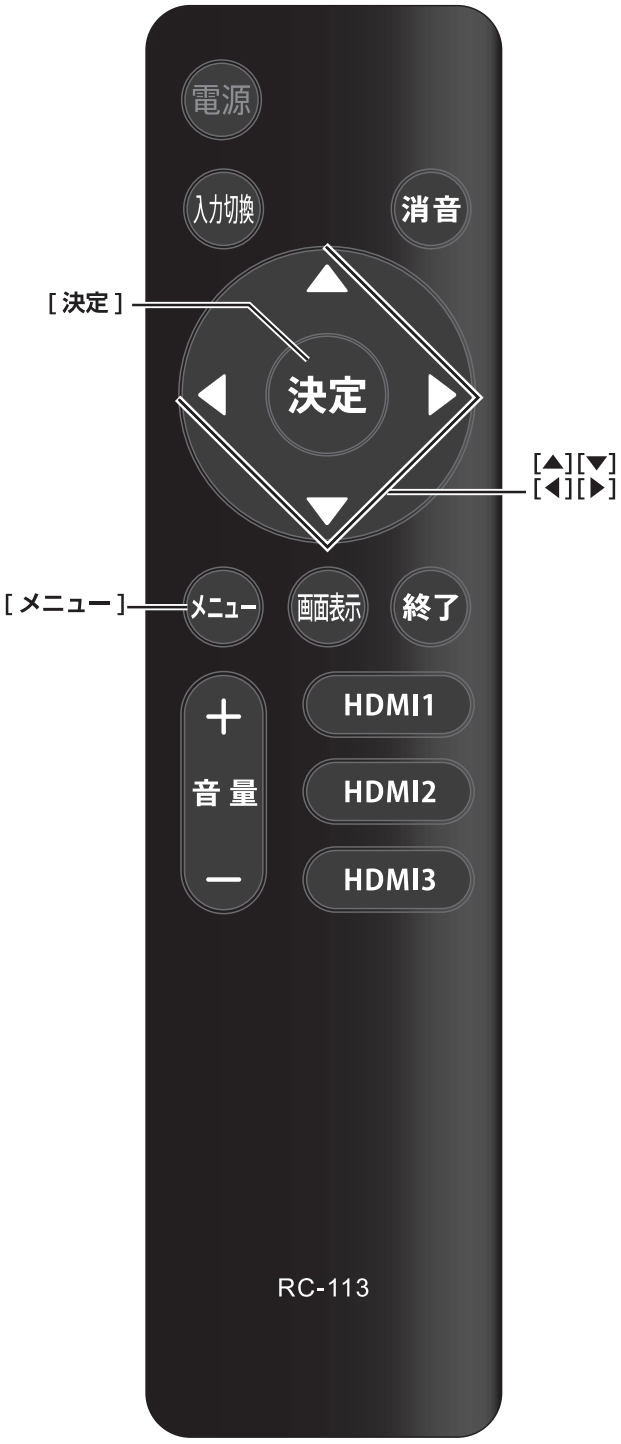
メニュー中の基本操作

[メニュー] →
希望する項目を選択し **【決定】** を押す

[決定]
選択の決定

[▲]/[▼]/[◀]/[▶]
項目の選択、調整

メインメニューの使い方（つづき）



メニュー中の基本操作

[メニュー] →
希望する項目を選択し
【決定】 を押す

[▲]/[▼]/[◀]/[▶]
項目の選択、調整

[決定]
選択の決定

映像設定メニュー（つづき）

【ノイズリダクション】
画像のノイズを低減させます。
オフ： 映像ノイズの検出をしません。
低： 映像ノイズを検出し、ノイズを弱く低減します。
中： 映像ノイズを検出し、ノイズを中程度に低減します。
高： 映像ノイズを検出し、ノイズを高程度に低減します。

【HDMI MODE】
HDMI入力での画像処理を入力信号に合わせて最適にします。
AUTO: 入力信号を自動的判別して、画像処理をします。
HDMI: 動画入力に使います。
PC： テキスト文字入力に使います。

【明るさ】
画面の明るさを調節します。

【アスペクト比】
入力信号に合わせて、画面の大きさを調整します。
ノーマル: 自動的にアスペクト比を調整します。
ワイド: 16:9の画面を見る時に使います。
映画: 画面の上下を切り取ります。
ズーム: 画面の中央を切り取ります。

音声設定メニュー

[メニュー] を押してメインメニューを開き [◀] / [▶] で選びます。

[▼] / [▲] で音声モードを選びます。
音声モードは標準、音楽、映画、スポーツ、ユーザーを選べます。
注意: 低音/高音/バランスの調整はカスタムモードでだけ、お好みに合わせて調整できます。
標準: 大体の音声に合う設定です。
音楽: 音楽プログラムを聞くのに適した設定です。
映画: 高音、低音を強調して、豊かな音になります。
スポーツ: 音声を強調します。
ユーザー: お好みに合わせて調整します。
ユーザー設定の時に高音、低音を調整することができます。

音声設定メニュー（つづき）

【高音】
高音の強さを調整します。

【低音】
低音の強さを調整します。

【バランス】
視聴位置に合わせて、左右のスピーカーの音量を調整します。

【自動ボリューム】
入力信号の強さを自動的に調整します。

【SPDIFモード】
自動：　ビットストリーム、PCM出力を自動判別して出力します。
PCM：　2チャンネルのステレオ信号に変更して出力します。
オフ：　デジタル音声出力をオフします。

タイマー設定

［メニュー］を押してメインメニューを開き［◀］/［▶］で選びます。

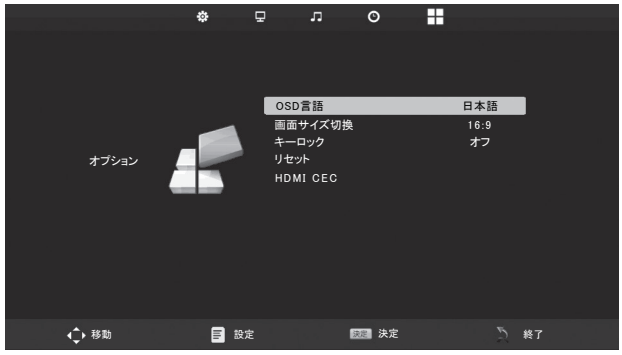
【スリープタイマー】
テレビがスタンバイになる時間を設定します。
設定時間：オフ、10分、20分、30分、60分、90分

【自動スリープ】
無操作時に自動的にテレビがスタンバイになる時間を設定します。
設定時間：オフ、3時間、4時間、5時間

【OSD表示時間】
OSDの表示時間を設定します。
設定時間：5秒、10秒、15秒、20秒、25秒、30秒

オプション

［メニュー］を押してメインメニューを開き［◀］/［▶］で選びます。



［▼］/［▲］でOSD言語、OSDタイムアウト、入力ラベル、その他の設定、リセット、HDMI CECを選びます。

【メニュー言語】
［◀］/［▶］で言語を選びます。（日本語/English）

【画面サイズ切換】
［▼］/［▲］で画面サイズを選びます。
画面サイズ：4:3、16:9、ズーム1、ズーム2、ジャストスキャン

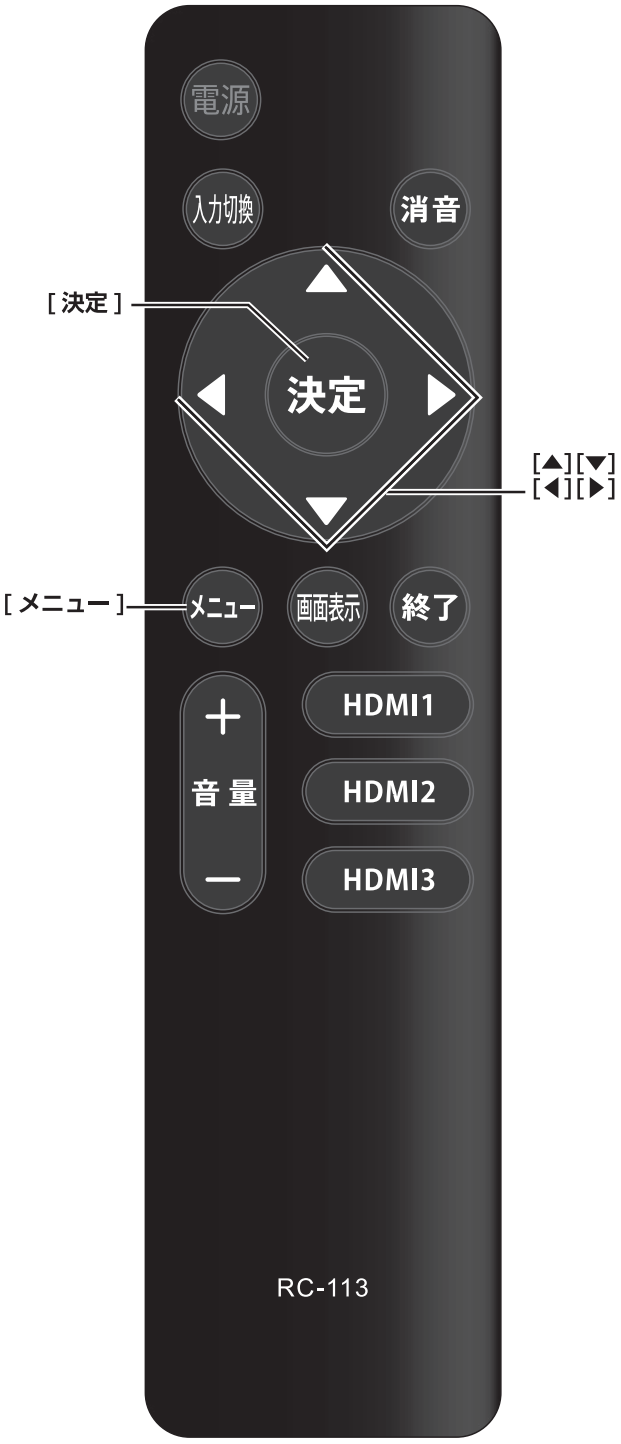
【キーロック】
テレビ本体キーの操作を禁止します。

【字幕】※
デフォルトは日本語です。

【文字コード】※
WINDOWSとISOが選べます。
※メディア再生時表示されます。

【リセット】
テレビを工場出荷時の設定に戻します。
よろしいですか”で［◀］を押すと、はい、［▶］を押すといいえ。

メインメニューの使い方（つづき）



メニュー中の基本操作

[メニュー] →
希望する項目を選択し
【決定】 を押す

[▲]/[▼]/[◀]/[▶]
項目の選択、調整

[決定]
選択の決定

オプション（つづき）

【HDMI CEC】

HDMI CEC機能を使って外部デバイスを制御します。
※すべてのデバイスの制御は保証していませんので、お使いのデバイスによっては動かない場合があります。

【CEC制御】

HDMI CEC機能を動作させます。

【ARC】

オーディオリターンチャンネルをオンします。
外部デジタルアンプにHDMIケーブルでデジタル音声を出力します。

【デバイスの自動電源切】

テレビの電源に連動して、デバイスの電源を切ります。

【テレビの自動電源入】

デバイスの電源を入れるとテレビの電源が自動的に入ります。

【デバイスリスト】

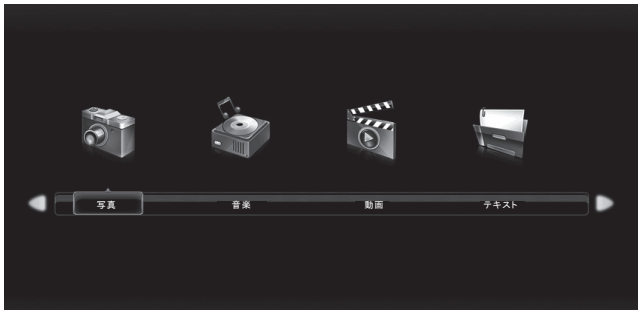
HDMI に接続されているデバイス名が表示されます。

【デバイスメニュー】

HDMIで接続されているデバイスのメニューが表示されます。
入力切換がメディア1、メディア2の時、以下の項目が表示されます。

メディア操作

メディアメニューを開くには、USB機器を接続します。
入力切換ボタンを押して、入力リストからメディアを選びます。



[◀] / [▶] で再生するカテゴリーを選びます。

メニュー

メディア操作（つづき）

写真を選んだ場合の例

Cを選んで決定します。

音楽のプレビュー画面例

画面に表示されるプレビュー画面及び、ファイルリストから再生するファイルを **[◀] / [▶]** で選び、**[決定]** で確定します。

カテゴリーメニューの操作

画面表示　を押します。
操作メニューが表示されますので、**[◀] / [▶]** で選び、**[決定]** で確定します。

写真

①再生/ポーズ　同じ写真を表示し続ける時にポーズボタンを押します。
②前　前の写真
③次　次の写真
④停止　停止し、前のフォルダに戻ります。
⑤リピート　すべてリピート、リピート1回、リピートなし
⑥音楽　USB内の音楽を再生します。
⑦プレイリスト　USB内にある写真のリストを表示します。
⑧情報　再生中のファイル詳細を示します。
⑨右回転　画像を90˚ 右回転します。
⑩左回転　画像を90˚ 左回転します。
⑪ズームイン　画面を拡大します。　x2、x4、x8
⑫ズームアウト　画面を1/2、1/4に戻します。
⑬ビューの移動　ズームした画面の位置を移動します。

音楽

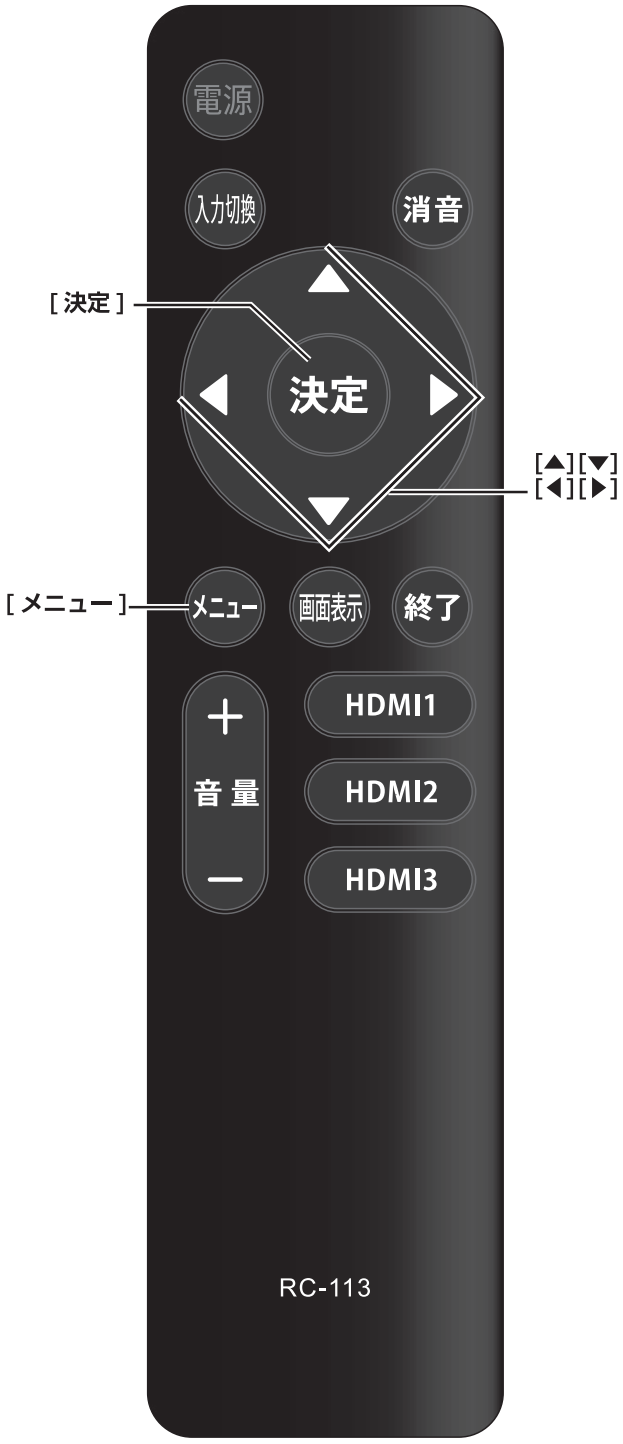
①再生/ポーズ　音楽を一時停止/再生します。
②早戻し　2x、4x、8x、16xで戻ります。
③早送り　2x、4x、8x、16xで進みます。
④前　前の曲
⑤次　次の曲
⑥停止　停止し、前のフォルダに戻ります。
⑦リピート　すべてリピート、リピート1回、リピートなし
⑧消音　音を消します。
⑨プレイリスト　USB内にある音楽のリストを表示します。
⑩情報　再生中のファイル詳細を示します。

動画

（音楽の説明を参照してください。）

①A点設定　繰り返し再生する場所（A、B）を設定します。
②プレイリスト　動画のリストを表示します。
③情報　再生中のファイル詳細を示します。
④スロー　スロー再生します。1/2、1/4、1/8、1/16再生
⑤コマ送り　一コマずつ再生します。
⑥ズームイン　画面を拡大します。　x2、x4、x8
⑦ズームアウト　画面を1/2、1/4に戻します。
⑧画面サイズ　ズーム1、ズーム2、4:3、16:9
⑨ビューの移動　ズームした画面の位置を移動します。

メインメニューの使い方（つづき）



カテゴリーメニューの操作（つづき）

テキスト

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦

⑧

①前のページ	前のページに戻ります。
②次のページ	次のページに進みます。
③前	前のテキストファイルへ。
④次	次のテキストファイルへ。
⑤停止	テキストの再生を停止します。
⑥音楽	USB内の音楽を再生します。
⑦プレイリスト	USB内にあるテキストファイルのリストを表示します。
⑧情報	再生中のテキストファイルの詳細を表示します。

メニュー中の基本操作

[メニュー] → 希望する項目を選択し **【決定】** を押す

[決定] 選択の決定

[▲]/[▼]/[◀]/[▶] 項目の選択、調整

その他

この章では、故障かなと思った場合の対処方法や用語の説明など、必要に応じてご参照いただく内容を記載しています。

ページ

故障かな？と思ったら 36

主な仕様 38

保証とアフターサービス ..... 裏表紙

故障かな？と思ったら

お問い合わせの前に

まず、以下の点をご確認ください。

- その他の接続
- 入力切換の設定

以下の状態は故障ではありません。

画面の中に、点灯したままの点、または点灯しない点がある

画面上に赤や青、緑の点（輝点）が消えなかったり、黒い点（滅点）が表れたりしますが、故障ではありません。液晶画面は非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素があります。

ときどき「ピシッ」というきしみ音が出る

周囲との温度差によってキャビネットがわずかに伸縮するために起こる音です。故障ではなく、性能などにおよぼす悪影響もありません。

原因と対策

●全般

問題	原因	対策
映像も音も出ない。	電源プラグがコンセントから抜けている。	電源プラグをコンセントに挿してください。
	入力選択が適切でない。	見たい映像の入力を選択してください。（☞16ページ）
電源が突然切れた / いつの間にか切れていた。	タイマーが設定されている。	タイマーをオフにしてください。
	オフタイマーが働いた。	再度電源を入れてください。
リモコンが動作しない。	電池が適切に入っていない。	指定された電池を、指定された向き（＋ －）で、適切に入れてください。
	電池が消耗している。	新しい電池と交換してください。
	向きが適切でない。	リモコンを本機のリモコン受光部に向けて操作してください。
	本機のリモコン受光部に、強い光が当たっている。	リモコン受光部に強い光が当たっていると、操作を受け付けない場合があります。カーテンやその他の遮へい物で光を調整してください。
	近くに電子レンジがある。	近くに電子レンジがあると、操作を受け付けない場合があります。できるだけ本機と電子レンジは離して設置してください。

●映像（全般）

問題	原因	対策
色がおかしい / 画面が暗い。	画質が適切に設定されていない。	画質を適切に設定してください。（☞29 ページ）
画面が一部切れる / 画面が歪む。	画面サイズが適切でない。	**[画面サイズ切換]** または設定メニューで適切な設定を選んでください。（☞ 30 ページ）

故障かな？と思ったら（つづき）

●接続した機器について

問題	原因	対策
接続した機器の映像が出ない。	コードの接続部が緩んでいる。	しっかりと接続してください。
	入力選択が適切でない。	見たい映像の入力を選択してください。（☞16ページ）
	接続した機器の出力設定が適切でない。	接続した機器の取扱説明書をご覧になり、設定しなおしてください。
パソコンの画像が出ない。	パソコンが、テレビに画像を出力できるように設定されていない。	パソコンの取扱説明書をご覧になり、設定しなおしてください。
ビデオの再生 / 録画時に縞状のノイズが出る。	ビデオデッキが本機の近くにあるため、電磁波の干渉が起きている。	ビデオデッキを本機からなるべく離して設置してください。

●音声（全般）

問題	原因	対策
映像は出るが、音が出ない。	音量が下がりきっているか、「消音」になっている。	音量を上げてください。
片方からしか音が聞こえない / 左右の音量に差がある。	バランス設定が適切でない。	設定メニューでバランスを調整してください。（☞30ページ）

●音声（接続した機器）

問題	原因	対策
画像は出るが、音が出ない。	接続した機器の音声出力設定が適切でない。	接続した機器の取扱説明書をご覧になり、設定しなおしてください。
	音声ケーブルが正しく接続されていない。	音声ケーブルを正しく接続してください。

主な仕様

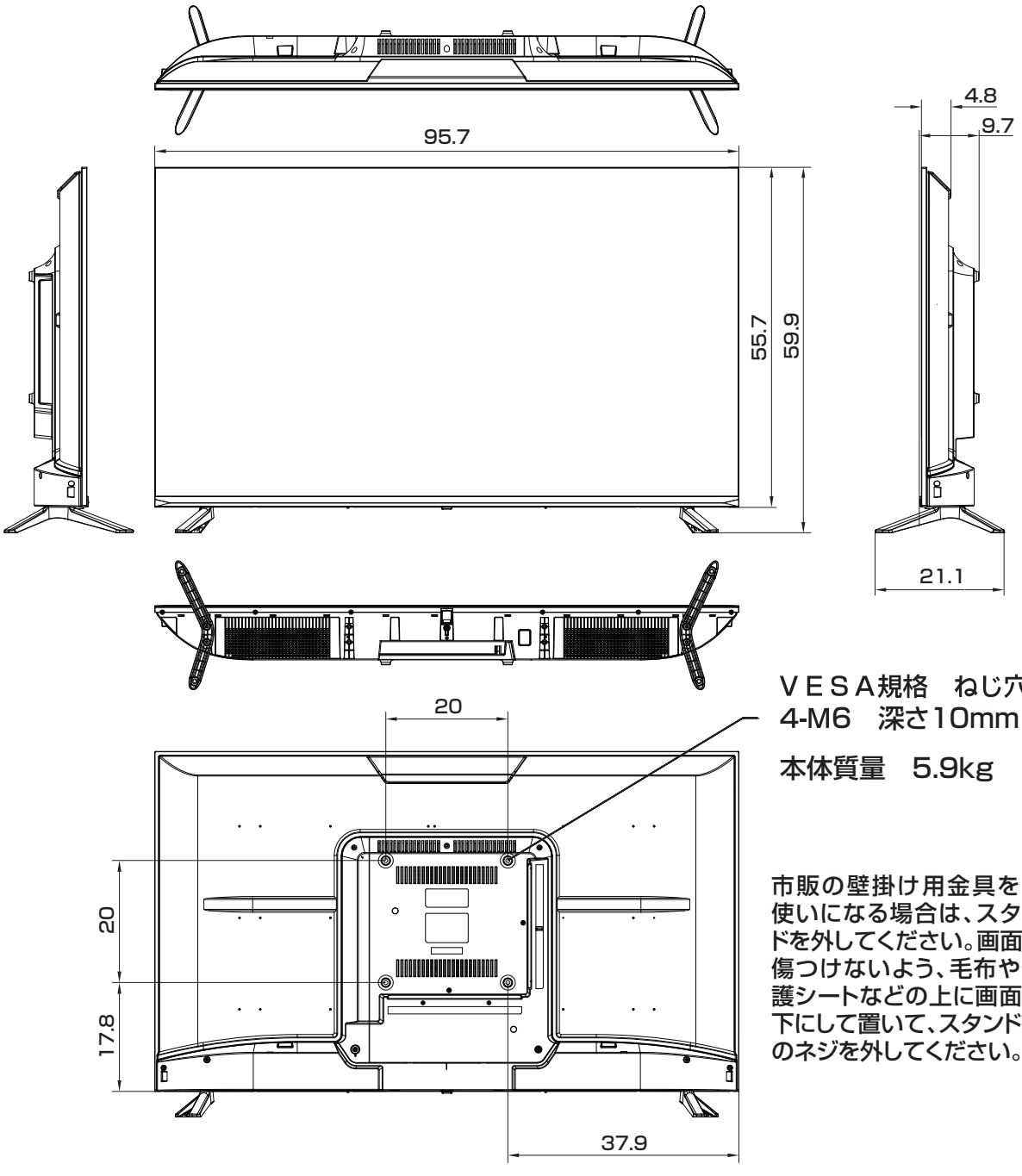
この製品は日本国内専用です。外国では電源電圧、放送方式が異なるため使用できません。
This TV is designed only for use in Japan and cannot be used in any other countries.

型　　名		AP43APXA/DA43MDR
液晶パネル	パネルサイズ	43インチ
	解像度	1920 × 1080
	色域	16.7百万色
待機電力		0.3W
消費電力	定格電圧	AC100V　50/60Hz
	定格消費電力	75W
	年間消費電力量（※）	118kWh/ 年
スピーカー出力		8W × 2
使用環境		0℃～35℃
壁掛け		VESA 規格　M6 200 × 200mm 準拠
付属品		①取扱説明書　②リモコン　③リモコン用電池（単4型）×2 ④保証書　⑤スタンド×2　⑥スタンド取り付け用ネジ×4本
入力		AV入力（映像/音声）×1
		HDMI 入力 ×3
		VGA入力 ×1
出力		同軸デジタル音声出力 ×1、ヘッドホン出力 ×1
その他端子		メディア再生USB（DC5V 500mA）×2

※年間消費電力量とは、省エネ法に基づき、サイズや受信機の種類別の算定式により、1 日 5.1 時間の動作時間、18.9 時間の待機時間で算出した、1 年間に使用する電力量です。

6面図

単位 cm



ＶＥＳＡ規格　ねじ穴
4-M6　深さ10mm

本体質量　5.9kg

市販の壁掛け用金具をお使いになる場合は、スタンドを外してください。画面を傷つけないよう、毛布や保護シートなどの上に画面を下にして置いて、スタンド用のネジを外してください。

保証書とアフターサービス

本製品のアフターサービスに関してご不明な場合は、ご相談窓口にお問い合わせください。

保証書・保証期間について

●この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げの販売店でお渡ししますので、所定事項の記入、販売店の捺印の有無、および記載内容をご確認ください。なお、保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

●保証期間は、お買い上げの日より 1 年間です。

●弊社では、この製品の補修用部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製品の製造終了後、最低 8 年間保有しています。

修理を依頼されるとき

修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

[保証期間中の場合]

保証書の規定に従い、弊社にて修理をさせていただきます。下記のサービス／コールセンターにご連絡ください。

[保証期間を過ぎている場合]

お買い上げの販売店にご相談ください。修理範囲（サービス内容）、修理費用の目安、修理期間、修理手続きなどを説明いたします。

故障／修理のお問い合わせは下記のサービス／コールセンターまでお願いいたします。

修理を依頼される場合にお知らせいただきたい内容

●お名前・ご連絡先の住所・電話番号 / FAX 番号

●お買い上げ年月日・販売店名

●モデル名・製造番号（製造番号は、本体の背面部のラベル上および保証書に表示されている番号です）

●故障または異常の内容（できるだけ詳しく）

[製造元]

ダイコーアペックス 株式会社

〒409-0112　山梨県上野原市上野原964

■お客サービス ／コールセンター

TEL:0570-021-051　FAX:0554-56-8086

営業時間：12時～17時　営業日：平日（月～金）、年末年始、夏季休業期間を除く

Ver.AP43APXA/DA43MDR_001